

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 5

生産性向上補助金でワイドエリア三次元測定機を導入し、品質が向上しました！

株式会社丹後製作所

事業概要：(業種：機械加工業)

神奈川県相模原市中央区田名 3092-1

代表取締役：太田 直樹さん

【社長より一言】

当社は、機械加工の総合メーカーとして、大小様々なサイズの製品に対応できるように、大型5面加工門型マシンングセンタや5軸加工マシンングセンタ、中小型マシンングセンタ、ワイヤカット他、多種多様な機械を導入しております。扱う製品も産業機械部品や工作機械部品、土木建設機械部品、油圧機械部品、精密機械部品、半導体製造機関連部品他、様々な分野でお客様のニーズに応えられるように精密加工部品を供給して成長してきました。

現在は、相模原市で4つの工場を生産を行っており、本社工場、第1工場及び第4工場は機械加工工場、第三工場(製缶工場)は溶接工場となっております。



◆導入した設備

◇三次元測定機



◆生産性向上のねらい

三次元測定機の導入により、①あらゆる形状の製品の正確な測定、②測定の効率化、③品質保証の確保を図りたいと考えています。

～✍神奈川県取材ノート～

丹後製作所は、4つの工場を生産を行っており、それぞれ工作機械がぎっしり整備されており、どんな製品にも対応できるスバクがあるのだと感じました。現状は、全て正社員で、ベテランが揃っているそうですが、10年後を見据え、若手の育成もご検討しているとのことでした。近隣の工業団地でも廃業する会社も多くなったようで、厳しい経営環境だと思いますが、補助金等も最大限活用して、現状の生産量の維持・成長を期待しています。

●設備導入前の状況

これまで大型製品を測定する場合、製品を2人がかりで測定工場に移動させ、測定機にセットし、測定し、製作工場へ戻すという工程となり手間も時間もかかりました。

製品が大きければそれだけ測定に要する時間もかかりました。(2人で5時間程度) また、複雑な形状の製品の測定にも、熟練の技術と時間が掛かっていました。



○設備導入後の状況

三次元測定機は簡単に持ち運べるので、測定機自体を工場に持込むことで、製品の移動は不要になりました。1人で測定機を三脚にセットし、計測することが可能となり、人員の削減になりました。(1人で1時間程度) ポイントを合わせるだけなので複雑な形状の測定も簡単にできるようになりました。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

今回の補助金はお付合いのある商社の方からお知らせいただきました。

申請書は自分たちで作成しましたが、過去に補助金の申請をして不採択となった経験もあったので、必要に応じて設備のメリットなど、商社の方にアドバイスをいただきながら作成していました。1、2年に1度は補助金を利用して設備導入をしています、毎回申請には時間がかかってはいます。

◆補助金を申請してよかった事

弊社の設備は高額なこともあり、新しい設備導入には今後も補助金を活用させてもらいたいと思います。特に今回導入した三次元測定機は、10mの長さのものまで測定できることや、最近では製品検査のエビデンスが必須になることも多いため、とても重宝しています。



◆最後にひとこと！

機械加工は丹後製作所まで！

あらゆるサイズの製品に対応できるように設備も取り揃えています！

制作事例



株式会社丹後製作所